

ChatGPT 4o

Hi

「生成 AI で日常化される知財 -特許 AI ツールが強化するソフトパワー」文字起こし.docx
ドキュメント

要約してください。

ChatGPT

要約: 生成 AI で日常化される知財 -特許 AI ツールが強化するソフトパワー

背景と講演者紹介

- 2024 年 4 月 18 日に開催された JAPAN X-Tech 展 2024 で、Tokkyo.Ai 株式会社 取締役 COO 平井 智之 氏が「生成 AI で日常化される知財 -特許 AI ツールが強化するソフトパワー」という講演を行った。

主なテーマ

- 1. ソフトパワーの重要性**
 - 日本の国際競争力を強化するために知財を活用する必要がある。
 - 軍事力や経済力だけでなく、国の魅力を広め、産業の進行や海外市場の拡大に寄与するソフトパワーが重要。
- 2. 生成 AI の活用**
 - チャット GPT などの生成 AI が日常化している。
 - デザインや特許分野で生成 AI が迅速に結果を出す能力を強調。
- 3. 特許 AI ツールの導入と効果**
 - 特許の文案作成や類似特許の調査、要約作成などを簡単に行う AI ツールの紹介。
 - ツールを使うことで特許関連の業務が大幅に効率化。
- 4. 知財の普及と実装**
 - 知財戦略を支援する AI ツールやプラットフォームの開発と提供。
 - 発明やビジネスアイデアを特許文案に変換し、類似特許の調査を行う機能。
- 5. 生成 AI と特許の関係**
 - 生成 AI を使った特許の生成と調査の新しい業務フロー。
 - 特許業務の効率化と費用対効果の向上。
- 6. 具体的な導入事例と効果**
 - 食品、電気機械、教育、自動車、物流などの分野で導入が進む。
 - 外部弁理士への依頼フォーマット作成やキーワード検索不要な類似特許調査の機能。
- 7. 生成 AI の活用事例と将来の展望**
 - AI を使いこなすことで業務効率が上がり、AI 導入企業と非導入企業の差が

広がる可能性。

- ソフトバンクグループの生成 AI コンテストなど具体的な活用事例。

平井氏は、AI が奪うのではなく、AI を活用する人が伸びることを強調し、生成 AI ツールの導入による業務効率化のメリットを説明した。

40

「特許 AI ツールの導入と効果 特許の文案作成や類似特許の調査、要約作成などを簡単に行う AI ツールの紹介。 ツールを使うことで特許関連の業務が大幅に効率化。」を詳しく ChatGPT

特許 AI ツールの導入と効果の詳細

特許 AI ツールの機能

1. 特許文案作成

- 発明やビジネスアイデアを簡単に入力するだけで、特許文案を生成する。
- 文章の入力から特許文案を作成するプロセスが簡単で迅速。

2. 類似特許の調査

- 既存の特許データベースを検索し、類似する特許を特定。
- キーワード選定を必要とせず、文章や業界情報に基づいて自動的に関連特許を見つけ出す。

3. 要約作成

- 特許の長い文書を短時間で要約。
- 特許の技術内容や解決する課題を数行でまとめ、理解しやすい形にする。

効果と利便性

1. 業務効率化

- 人手で行うと時間がかかる作業を AI が短時間で実行。
- 例えば、特許文案の作成において、人間が数時間かかる作業を AI は数分で完了する。

2. コスト削減

- 特許調査や文書作成にかかる時間と労力を大幅に削減。
- 外部弁理士に依頼する前の準備作業が効率化され、全体のコストも削減される。

3. 精度と信頼性の向上

- AI による自動化で人為的なミスが減少。
- 類似特許の漏れを防ぎ、より包括的な特許調査が可能。

4. 多言語対応

- 海外特許の調査や要約が迅速に行える。
- 異なる言語での特許文書の翻訳や要約が簡単に行えるため、国際的な特許戦略が容易になる。

実際の導入事例

- **企業の知財部門**
 - 知財部門のスタッフが他社の特許を調査し、自社の特許戦略を立てる際に活用。
 - 研究開発部門のスタッフも、特許文案作成や調査を自分で行うことが可能になり、スピードアップ。
- **外部弁理士への依頼**
 - 弁理士に特許出願を依頼する際のフォーマットを AI ツールで作成。
 - 依頼前の準備が迅速に行われ、弁理士との相談がスムーズに進行。

ツールの具体的な使い方

1. **発明内容の入力**
 - 発明やビジネスアイデアを簡単な文章で入力。
 - AI がその内容を元に特許文案を自動生成。
2. **類似特許の検索**
 - 入力された発明内容を基に、類似特許をデータベースから検索。
 - 検索結果から関連性の高い特許をリストアップ。
3. **要約作成と分析**
 - 長文の特許文書を AI が自動で要約。
 - 要約された内容を基に、特許の技術的なポイントや解決する課題を簡単に理解。
4. **特許文案の生成**
 - 要約や調査結果を元に、詳細な特許文案を作成。
 - 生成された文案をレビューし、必要に応じて修正。

特許 AI ツールは、これらの機能を通じて特許関連業務の効率化、コスト削減、精度向上を実現し、知財戦略を強化するための強力なサポートを提供します。

4o

「具体的な導入事例と効果 食品、電気機械、教育、自動車、物流などの分野で導入が進む。外部弁理士への依頼フォーマット作成やキーワード検索不要な類似特許調査の機能。」を詳しく

ChatGPT

具体的な導入事例と効果

導入事例

1. **食品業界**
 - **使用例:** 新しい食品加工技術や保存方法の特許出願。
 - **効果:** AI ツールで迅速に特許文案を作成し、類似特許の調査を行うことで、新製品の開発から市場投入までの時間を短縮。

- **事例:** 食品メーカーが AI ツールを使って、特許の先行調査を実施。これにより、重複する特許の出願を避け、革新的な技術をスムーズに特許化。

2. 電気機械業界

- **使用例:** 新しい電気機器や制御システムの特許出願。
- **効果:** 複雑な技術内容を AI が要約し、特許文案を簡潔にまとめることで、特許出願プロセスを効率化。
- **事例:** 電機メーカーが AI ツールで既存特許の要約を行い、特許戦略会議での議論を効率化。これにより、新規出願の競争力を高める。

3. 教育分野

- **使用例:** 教育用ソフトウェアや教材の特許出願。
- **効果:** AI ツールが教育関連特許の類似特許を迅速に検索し、要約を提供することで、教育機関が効果的に知財戦略を策定。
- **事例:** 教育企業が AI ツールを使用して、他社の教育技術特許を分析。新規の教育プログラム開発に役立てる。

4. 自動車業界

- **使用例:** 自動運転技術や新しいエンジン設計の特許出願。
- **効果:** AI が複雑な技術文書を要約し、特許文案の作成を支援することで、研究開発から特許出願までのプロセスを加速。
- **事例:** 自動車メーカーが AI ツールを使い、新しい自動運転システムの特許出願を迅速化。類似特許の検索と要約機能で、特許の独自性を確認。

5. 物流業界

- **使用例:** 新しい物流システムや配送技術の特許出願。
- **効果:** AI ツールが特許文書の要約を提供し、外部弁理士への依頼フォーマットを作成することで、特許出願の準備を効率化。
- **事例:** 物流企業が AI ツールを利用して、新しい配送システムの特許文案を作成。弁理士との連携をスムーズにし、出願プロセスを短縮。

効果

1. 外部弁理士への依頼フォーマット作成

- **機能:** AI ツールが特許出願に必要なフォーマットを自動生成。
- **メリット:** 弁理士への依頼が迅速に行えるため、出願準備が効率化。
- **具体例:** 弁理士に提出するための文書を自動で整えることで、依頼準備にかかる時間と手間を削減。

2. キーワード検索不要な類似特許調査

- **機能:** 特許文書の内容を基に、AI が自動的に類似特許を検索。
- **メリット:** キーワード選定の手間を省き、検索精度を向上。
- **具体例:** キーワードの選定に依存せず、AI が類似性の高い特許をリストア

ップするため、調査が迅速かつ正確に行える。

これらの導入事例と効果は、特許 AI ツールが特許関連業務の効率化を実現し、各業界における知財戦略の強化に大いに貢献していることを示しています。

40

「ソフトバンクグループの生成 AI コンテストなど具体的な活用事例。」を詳しく

ChatGPT

ソフトバンクグループの生成 AI コンテストなど具体的な活用事例

生成 AI コンテストの概要

- **目的:** ソフトバンクグループは生成 AI の可能性を探るため、グループ内で生成 AI コンテストを開催。
- **内容:** グループ全体から生成 AI を活用したアイデアや発明を募集し、優れたアイデアには特許出願を支援。
- **規模:** 約 10 万件の応募があり、その中から優れたアイデアが選ばれた。

活用事例の詳細

1. 応募アイデアの評価と特許出願支援

- **プロセス:** 応募されたアイデアを評価し、生成 AI を活用して特許文案を作成。
- **支援内容:** 優れたアイデアについては、特許出願のための文書作成や特許調査を AI ツールで支援。
- **具体例:** 例えば、新しい通信技術やデータ処理技術のアイデアが選ばれ、生成 AI を使って特許文案を迅速に作成。

2. 生成 AI のアイデア発掘能力

- **効果:** 生成 AI の活用により、従来の方法では見逃されていた革新的なアイデアを発掘。
- **具体例:** ソフトバンクグループ内の技術者や研究者が、生成 AI を使ってアイデアを具現化し、それをコンテストに応募。

3. 生成 AI を使った特許戦略の強化

- **戦略:** 優れたアイデアを特許として保護することで、グループ全体の技術力と競争力を向上。
- **具体例:** 生成 AI で作成された特許文案を元に、特許出願を迅速に進め、競合他社との差別化を図る。

4. 社内イノベーションの促進

- **文化:** コンテストを通じて、社内で生成 AI の活用を奨励し、イノベーション文化を醸成。
- **具体例:** 社員が生成 AI を日常的に使う習慣が根付き、常に新しいアイデアが生まれる環境を整備。

成果と影響

1. 特許出願の増加

- コンテストを通じて、短期間で多くの特許出願が実現。
- 生成 AI による効率的な特許文案作成が寄与。

2. 技術力の向上

- 優れたアイデアが特許化されることで、ソフトバンクグループの技術力が強化。
- 新しい技術分野への進出が加速。

3. 競争力の強化

- 特許による技術保護と市場での競争優位性の確立。
- 生成 AI の活用により、競合他社よりも迅速に技術開発を進めることが可能。

4. 生成 AI の社内普及

- コンテストを契機に、生成 AI の利用がグループ全体に広がり、業務効率化や新技術開発に貢献。

まとめ

ソフトバンクグループの生成 AI コンテストは、生成 AI の実用化とその効果を証明する具体的な事例として、特許出願の効率化、技術力の向上、社内イノベーションの促進など多岐にわたる成果を上げています。これにより、ソフトバンクグループは生成 AI を活用した新たなビジネスモデルを構築し、技術的な競争力を一層強化しています。

40

「応募アイデアの評価と特許出願支援 プロセス: 応募されたアイデアを評価し、生成 AI を活用して特許文案を作成。支援内容: 優れたアイデアについては、特許出願のための文書作成や特許調査を AI ツールで支援。具体例: 例えば、新しい通信技術やデータ処理技術のアイデアが選ばれ、生成 AI を使って特許文案を迅速に作成。」を詳しく

ChatGPT

応募アイデアの評価と特許出願支援の詳細

プロセス

1. アイデアの応募

- **ステップ:** ソフトバンクグループ内の従業員から、生成 AI を活用したアイデアを募集。
- **フォーマット:** アイデアは特定のフォーマットに沿って提出。例えば、技術の概要、目的、期待される効果などを記載。

2. アイデアの評価

- **評価基準:** 提出されたアイデアは、独創性、技術的な革新性、実現可能性、ビジネスインパクトなどの基準で評価。
- **審査プロセス:** 専門家チームが応募アイデアを評価し、優れたアイデアを選

定。

3. 生成 AI を活用した特許文案の作成

- **初期ステップ:** 選ばれたアイデアの技術的な詳細をさらに具体化。
- **AI の役割:** 生成 AI を使用して、アイデアを特許文案に変換。具体的には、技術的な詳細、背景技術、課題の解決方法、実施例などを特許文書の形式で生成。

支援内容

1. 特許文書の作成

- **AI ツールの利用:** 特許文書作成において、生成 AI が効率的に文案を作成。
- **人間の確認:** 作成された文案を専門家が確認し、必要に応じて修正。AI が生成した文書の正確性と適切性を保証。

2. 特許調査

- **類似特許の検索:** AI ツールを使って、既存の特許データベースから類似特許を検索。
- **調査結果の分析:** 類似特許との違いや新規性、進歩性を評価し、出願の可否を判断。

3. 特許出願支援

- **出願書類の準備:** AI が作成した特許文案を基に、出願書類を整備。
- **法的手続き支援:** 特許事務所や弁理士と連携し、出願手続きを支援。

具体例

● 新しい通信技術のアイデア

- **アイデア概要:** 従業員が提出した、次世代の通信プロトコルに関するアイデア。
- **評価結果:** 技術的な革新性とビジネスインパクトが高く評価される。
- **文案作成:** 生成 AI を使って、通信プロトコルの詳細、システムアーキテクチャ、具体的な実装例などを特許文書として生成。
- **特許調査:** 類似特許を AI が検索し、競合他社の特許と比較。
- **出願手続き:** 特許事務所と連携し、出願書類を作成して特許庁に提出。

● 新しいデータ処理技術のアイデア

- **アイデア概要:** ビッグデータのリアルタイム処理に関する革新的なアルゴリズム。
- **評価結果:** データ処理効率の向上とコスト削減効果が高く評価される。
- **文案作成:** 生成 AI がアルゴリズムの詳細な説明、データフローの図解、具体的な適用例などを特許文書として作成。
- **特許調査:** 既存のデータ処理技術に関する特許を AI が調査し、独自性を確認。

- **出願手続き**: 出願書類を整備し、特許出願を支援。

これらのプロセスと支援内容により、ソフトバンクグループは生成 AI を活用した特許出願を効率的に行い、技術革新を推進しています。生成 AI が特許文案作成と調査をサポートすることで、従業員のアイデアを迅速に特許化し、企業の競争力を強化しています。